代々木ポニー公園前道路の利活用に向けたワークショップ

第３回：イベントの企画をまとめよう！



開催概要

日時　2026 年 9 月 18 日（金）

会場　駒テラス西参道
はつらつセンター参宮橋







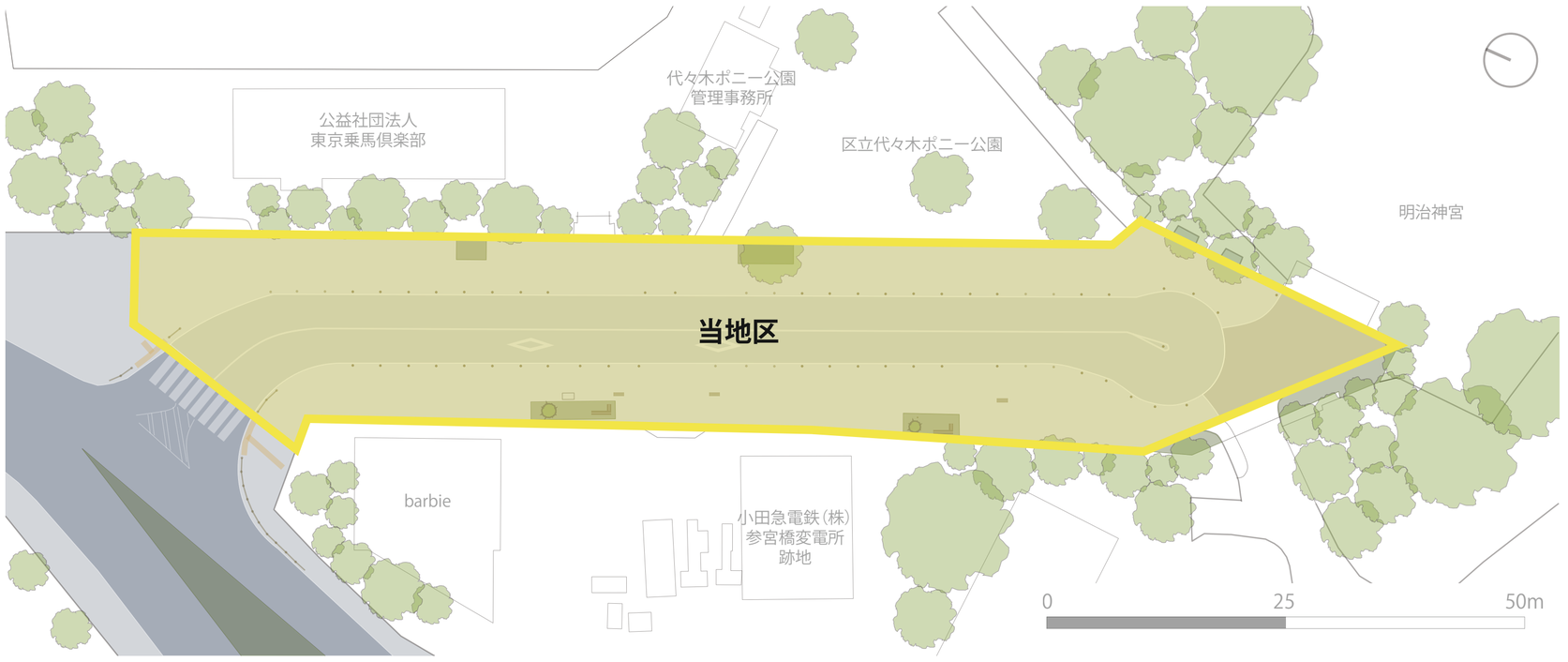
渋谷区

01 代々木ポニー公園前道路の将来像について

◎代々木ポニー公園前道路について

●渋谷区が明治神宮鎮座 100 年を機に進めている**「西参道プロジェクト」**では、**西参道の道路整備**（2022 年～段階的に竣工）や、将棋文化の発信・普及・振興拠点となる**「駒テラス西参道」**の新設（2023 年オープン）、**代々木ポニー公園の改修**（2026 年工事着工予定）などを行っています。

●**ポニー公園前道路（延長約 100m）**は、「西参道プロジェクト」の一環として、**①歩道拡幅、②道路と歩道の段差のセミフラット化、③〝参道にふさわしい景観づくり〟**として、白など明るい色を基調にしつつ「飛び石」をイメージしたデザインにする、**再整備工事を実施し、2022 年に竣工**しました。







●当地区の再整備後、**渋谷区として道路利活用の可能性を検討**するために、キャッチボールイベント（2024 年３月実施）やキッチンカーイベント（2025 年３月実施）等を行ってきました。

●地元としても、2022 年から開催いただいている「SANDOFES 西参道」においても、駒テラスの会場と併せて、**当地区も会場としてご活用**いただいている状況です。

■渋谷区としての取組





■地元としての取組





◎渋谷区の想い

●渋谷区としては、西参道エリアの新たな価値を創造する「西参道プロジェクト」の一環として、当地区における　**〝利活用による日常的な賑わいづくり〟**について、**今年度より本格的に検討していきたい**と考えています。

【当地区で目指す将来像】

誰もが、いつでも、気軽に、地域のルールに沿って利活用できる〝みち〟

西参道エリアの魅力を高め、地域のつながりを育む〝日常的な賑わい〟を創出

●上記の将来像を実現するために、今年度は**地元の方と渋谷区が連携**して、**当地区として目指す利活用の姿をイベントとして実現**するとともに、段階的に利活用の仕組みづくりを行っていきたいと考えています。

●併せて、**日常的な賑わい**を創出するための国の制度である**「歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）」**を活用することを視野にいれています。

日常的な賑わいづくりに向けて

再整備後のポニー公園前道路で日常的な賑わいづくりを進めていきたいと考えています。
続いてのパネルでは、日常的な賑わいづくりの実現に向けた制度と仕組みをご紹介します。

02 へ続く

02 日常的な賑わいづくりのための制度と仕組み

日常的な賑わいづくりに向けて、「ほこみち」の指定と、誰もが当地区に相応しい賑わいを創出してもらうための「手引き」の作成と「WEB サイト」の運用を予定しています。

◎ほこみち制度とは？

●ほこみち制度とは、**「歩行者利便増進道路」制度の愛称**です。

●道路は本来、人や車の通行のためのもののため、**道路上に物を置くこと（占用する）ことは原則として認められません。**

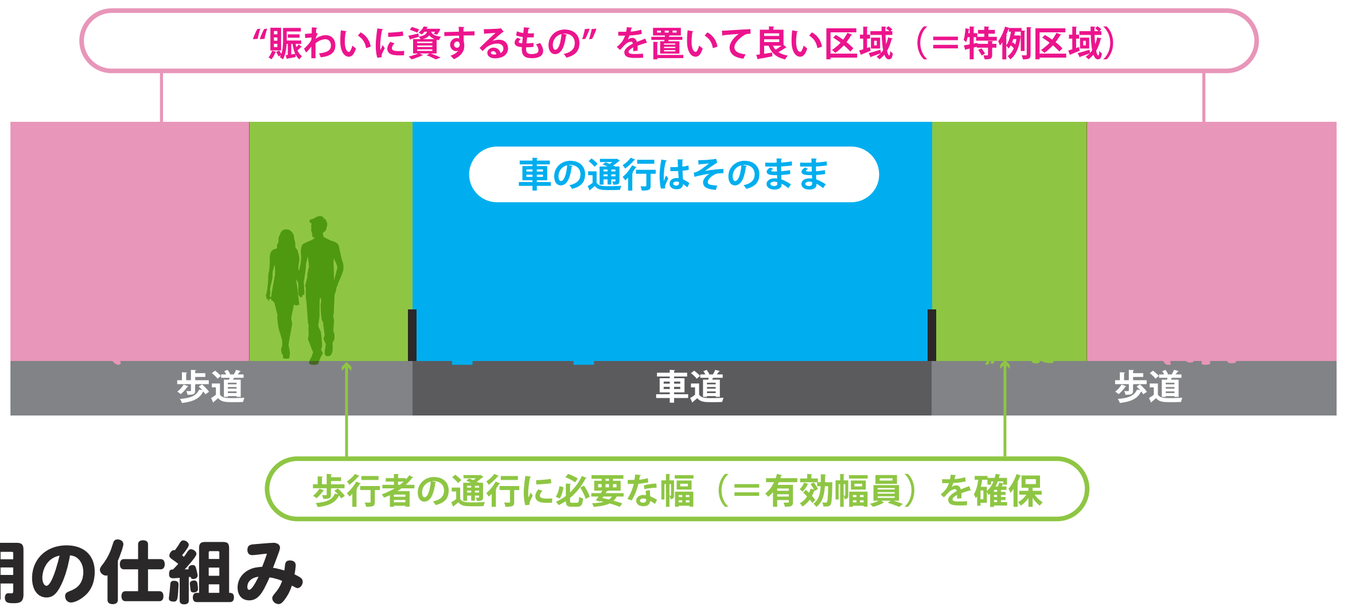
●しかし、ほこみち制度を活用することにより、**賑わいに資するもの（椅子テーブル・キッチンカー等）を歩道の一部（＝特例区域）に設置することが可能**になります。

●そのため、**歩道の一部を活用する取組であれば、手続きがスムーズになり、地域のイベントやその他の取組で活用しやすくなります**（ただし、 車道を活用する取組の場合の手続きは今までと同様の手続きとなります）。

●渋谷区では当地区を、**ゆっくり滞在できたり、まちの活性化につながる取組ができたりする〝みち〟**にすることを目的として、**令和９年度頃までに「ほこみち」に指定する予定**です。



※ほこみち内に指定された特例区域には、テラスやオープンカフェ等を設置できます。



◎当地区ならではの道路利活用の仕組み

●ほこみち制度を活用することにより、**誰でも当地区で利活用することが可能**となります。

●そこで**誰が利活用を行っても、当地区に相応しい賑わいを創出**するための「代々木ポニー公園前道路利活用の手引き」を作成したいと考えています。

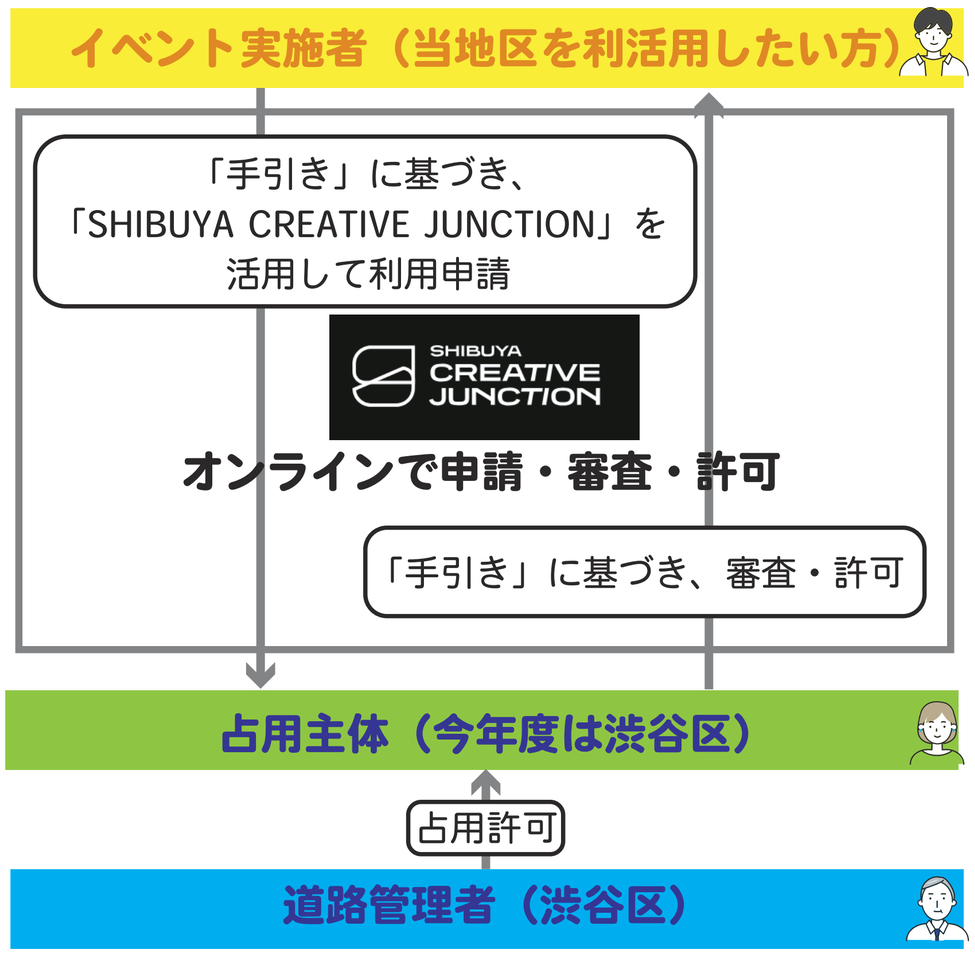
●**誰でも簡単に道路利活用の申請ができる WEB サイト**（SHIBUYA CREATIVE JUNCTION※）の活用を予定しています。

※渋谷区内の利活用可能な道路・広場・公園等の公共的空間等をまとめて検索し、利用申請ができる渋谷区公式の情報サイトです。

手引きの構成イメージ

01. ほこみちとは？
02. 西参道エリアの特徴
03. 代々木ポニー公園前道路の利活用の理念
04. 利活用事例
05. 代々木ポニー公園前道路の利活用可能エリア
06. 申請手続き・利用料金

WEB サイトの運用イメージ



当地区に相応しい賑わいの把握

「ほこみち」×「仕組み」により、誰でも、いつでも、気軽に、道路利活用ができます。
続いてのパネルでは、当地区に相応しい賑わいついてのヒアリング結果をご紹介します。

03 へ続く

03 地元の皆さまが求める当地区の賑わいのイメージ

地元団体や周辺施設等の皆さまへ、当地区に求める賑わいのイメージをヒアリングし、
当地区に相応しい賑わいを創出するイベントの企画のベースとさせていただきました。

◎当地区のイメージ

・格式高い明治神宮への参道 / 品格 / 緑豊か / 閑静 / 昔の正月は露店で賑わっていた
・地域としてはハイソである一方、古き良きな文化も残るミックスカルチャーの街
・様々なものを受け入れてきたまち
・明治神宮への参拝者（外国人）、子どもが多い

◎当地区で目指す賑わいのイメージ

地域の魅力を活かす

●当地区の立地特性や歴史的背景等の**バックグラウンドを踏まえた取組**
●明治神宮への参道という位置づけを意識した**品格のある取組**

まちとつながる

●**周辺施設**（明治神宮・代々木ポニー公園・オリンピックセンター等）**と連携した取組**
●**周辺施設**（商店街や駒テラス等）**と当地区がつながる取組**（まちあるき謎解きイベント等）

子ども・親子で楽しむ

●**子どもや親子が楽しめる取組**（手持ち花火、キャッチボール、移動動物園、遊び、飲食、犬とのふれあい等）

この場所ならではの体験

●**他ではできない取組**（花火・ボールの使用）
●**馬や鉄道**など、地域の特色を活かす

にぎわい・文化を楽しむ

●ヨーロッパの**朝市・マルシェ**のような取組
●**音楽**（クラシック・カラオケなど）
●縁台将棋など、**日本的な雰囲気**を楽しむ

ゆっくり過ごす

●馬を眺めながら、飲み物を楽しめる**休憩スペース**の設置

◎当地区で利活用する際の留意点

安全な通行	・**歩行者の安全を確保**すること ・周辺施設へ出入りする車両や代々木ポニー公園の工事車両等への**通行に配慮**すること
品格・環境へ	・**品格を意識**すること ・ゴミの放置や周辺施設へのポイ捨て等が起こらないようすること
馬への配慮	・ポニー公園の開園時間（9:00 ～ 17:00）は**馬に配慮**すること →大きな音・破裂音・強い光・肉食動物の臭い・急な動きはＮＧ
適切な運用	・**不適切な取組があった際、以降の取組はリジェクト（拒否）**する機能を設けた方が良い

ヒアリング結果を踏まえて、ワークショップでイベントのアイデア出し

ヒアリングより、当地区で求められる賑わいのイメージや留意点を整理しました。
続いてのパネルでは、ヒアリングを基に意見交換した第１回 WS についてご紹介します。

04 へ続く

04 第１回ワークショップの開催

ヒアリングでいただいた意見を基に事務局でモンタージュ画像を作成し、
モンタージュを組み合わせイベントの企画をしていただくワークショップを開催しました。

◎テーマ：「当地区で目指す日常的な賑わいのイメージを深めよう！」


渋谷区あいさつの様子


グループワークの様子


発表の様子

開催概要

●日　時：令和８年７月３１日（金）
18：30 ～ 20：00
●会　場：はつらつセンター参宮橋
●参加者：13 名（オブザーバー５名）

◎当日の主なご意見

A班 つながる（頑張って月イチの開催）
～親と子の繋がり、地域コミュニティ、馬と人、思い出記憶～

- 昼間：親はマルシェやピクニックで青空飲食をして**「和やかな休息」**、子はかるた等の昔遊びや動物と**「ふれあう」**、更に子は絵やスポーツ 等、思い切りを**「表現する」**場とする
- 夜間：馬との共存可能の時間のため**「花火」**を実施し、「神宮外苑手持ち花火大会」として名物化させる



ワークのまとめ

B班 大人も楽しめる
～オリンピックセンターのキッズフェスタと被らない、親子をターゲットとした取組～

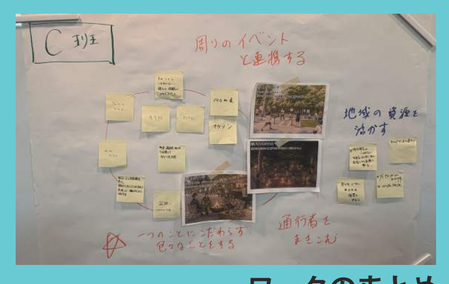
- 昼間：**大人が楽しめるマルシェ**等をベースに、親子で学べる**交通ルール教室や移動動物園、人間将棋、昔あそび**等を組み合わせる
- 終日：ピクニックや回遊させるスタンプラリー
- 夜間：大人がゆっくり**お酒**を飲んだり**映画**を見ている横で、子どもは手持ち花火をする



ワークのまとめ

C班 ひとつのことに拘らずに色々なことをする
～周りのイベントと連携する、通行者を巻き込む、地域の資源を活かす～

- ものごとにこだわらない、**様々な体験ができるスペース**
- **明治神宮やオリンピックセンターと連携**した取組
- ほかではなかなかできない火を使った**花火**など
- 実施場所が限られているモルックやピックルボール等の**スポーツ**
- **餅つき大会、100m走、ラジオ体操、盆踊り、マーケット、屋台村**



ワークのまとめ

大人も子どもも楽しめるイベントの企画へ

モンタージュ画像を組み合わせて、自由にイベントの企画を発想していただきました。
続いてのパネルでは、第１回 WS を踏まえて開催した第２回 WS の内容についてご紹介します

05 へ続く

05 第２回ワークショップの開催

第１回 WS でいただいた意見を元に作成したイベント企画（事務局ベース案）をご提示し、
具体的な企画を議論するワークショップを開催しました。

◎テーマ：「イベントの企画を考えよう！」


渋谷区あいさつの様子


グループワークの様子


発表の様子

開催概要

●日　時：令和８年８月２８日（金）
18：30 ～ 20：00
●会　場：はつらつセンター参宮橋
●参加者：１２名（オブザーバー２名）

◎当日の主なご意見

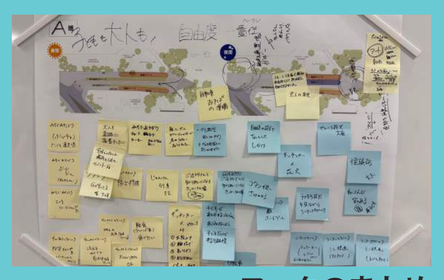
A班 大人も子どもも楽しめる場をつくる
～やることは決めるけれど全てを決めきらない”自由度のデザイン”と”ちょっとした仕掛け”～

・自由度のデザイン：　子ども向け大人向けと決めきるのではなく、**大人も子どもも楽しめる場**をつくりたい。運営側は安全面の確保と場所の提供をし、参加者自身が自由に楽しむ場をつくる。

・ちょっとした仕掛け：　運営側は**ちょっとした仕掛けを行い、場を楽しんでもらえるよう誘発**する。仕掛ける内容は、地域の歴史にあったものや、大人子ども問わず、訪れた人同士が繋がれるものとする。

・想定されるイベント：　じゃんけん列車を突然行う、子どもに限らず大人も地面に落書き、ボードゲーム、怪談話、ミニ映画

・注意すること：　地元の人は自転車で来場するので、**自転車置き場やベビーカー置き場の確保をする必要**がある。


ワークのまとめ

B班 ”つなぐ”をテーマに、みんなで何かをする

・昼間の取組：　**ピクニック（キッチンカー＋休憩）のスペース**と、何でも実施できる**イベントスペース**を配置する。
イベントスペースでは”つなぐ”をテーマに、**みんなで何かをする（みんなで大きな１つの絵を描く、みんなで何かの記録にチャレンジする等）**ということが実現できると良い。

・夜間の取組：　**基本は、ランタンピクニック＋手持ち花火で、親子連れがゆったりと滞在するシーン**をつくる。
ただし、**イベントの最後には、”つなぐ”をテーマに、みんなで楽しめる何か**（締めの花火やフォークダンス等）を実施し、**盛り上がり**をつくれると良い。


ワークのまとめ

”つなぐ”をテーマに大人も子どもも楽しめるイベントの実施

**第２回 WS では、大人も子どもも楽しめる場にしたいと意見をいただきました。
続いてのパネルでは、実際に 10 月に開催するイベントの企画についてご紹介します。**

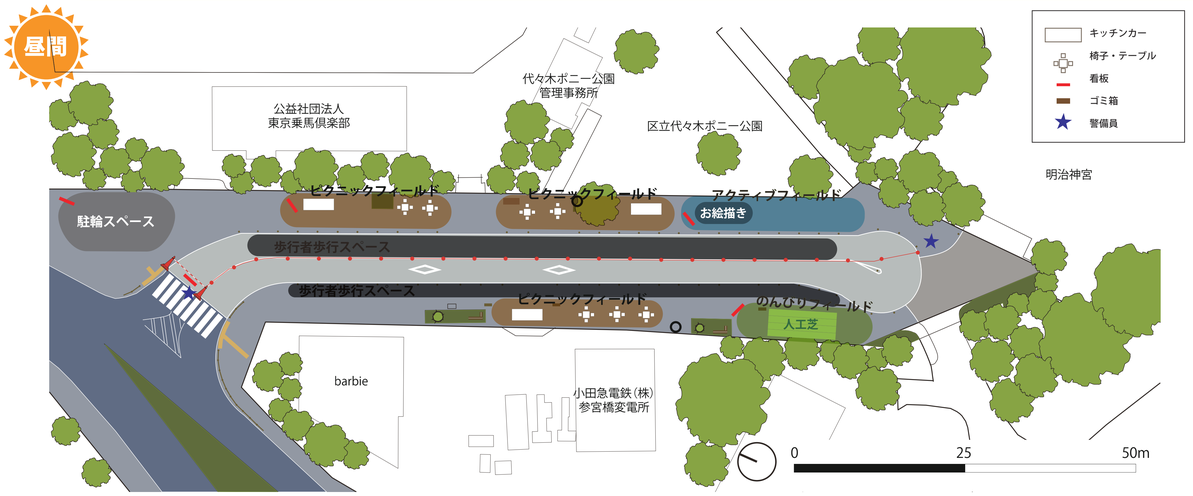
06 へ続く

06 皆様と一緒に検討したイベント企画

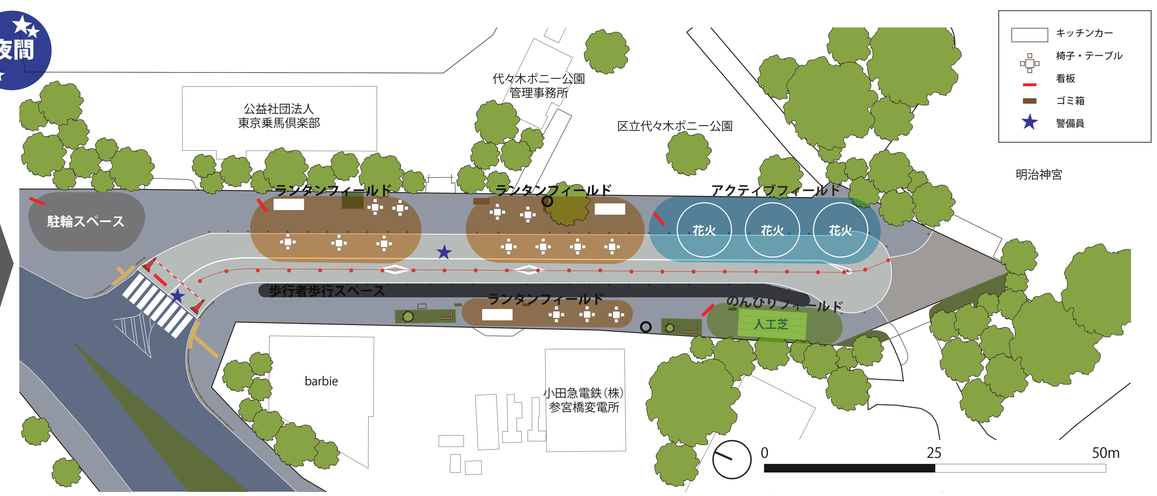
２回のワークショップ及び関係各所との協議を踏まえて、事務局として、10 月に実施するイベントの企画を以下の通りまとめました。

（仮称）トワイライトピクニック　～昼から夜へと移り変わる景色が “みち” と “まち”、“大人” と “子ども” をつなぐ～

2026 年 10 月 25 日（日）　14:00 ～ 19:00（予定）
※オリンピックセンター様のキッズフェスタ（10:30 ～ 15:30）と同日開催



移り変わり




ピクニックフィールドのイメージ


ピクニックフィールドのイメージ


ランタンフィールドのイメージ


のんびりフィールドのイメージ


アクティブフィールドのイメージ

【条件（周辺施設及び関係各所協議より】

	昼間	夜間
①馬への配慮	音・光を出す取組は不可	音・光を出す取組も可能
②車両通行	周辺施設への出入り車両や緊急車両に配慮	明治神宮閉園後（17:00 以降）は通常車両無し、緊急車両には配慮
③安全確保	車両片側約 2m ＋ 歩行者動線を確保	車両片側約 2mを確保
④周辺施設との連携	オリンピックセンター様の北門を開放	オリンピックセンター様の北門は閉鎖
⑤取組への制約	車両通行があることからボール・動物を扱う取組は厳しい	火を扱う取組は花火は〇、焚火は ×


アクティブフィールドのイメージ

※今後の関係者協議によっては、一部内容が変更となる場合があります